資料５

第４回神戸市外国語大学の今後のあり方検討委員会

現行の教育研究体制の枠組みにとどまらない抜本的な改組の考え方（会長試案）

〇改組の方向性

神戸市外国語大学の特長を生かしつつ、18 歳人口の減少や社会構造の変化を踏まえ、中長期的な持続可能性が見込まれるものであること。

〇抜本的な改組として考えられる要素

・神戸高専との同一法人化ならではのメリットを強力に具体化し、他大学との差別化ができること

・語学科を含む教育研究体制の見直しを伴うものであること

・教育研究活動を通じた地域社会への貢献が明確化されること

・地元の企業や高校等のニーズを十分に踏まえたものであること